

学校図書館支援だより

令和3年3月2日(火)

第9号 益田市教育委員会

Tel31-0445 Fax24-1380

あちらこちらで梅の花が咲き、春の訪れを感じうれしくなります。そんな中、1年を振り返ったり、次のステップに向かっての準備をしたり、子どもたちにとっても、心弾む3月になるのだらうと感じます…。



「1年生が喜ぶおもちゃまつり」に向けて

～中西小学校学校図書館活用事業における公開授業(2年生)～



「どうしたら1年生が楽しめるかな。」ということを常に意識しながら、子どもたちの活動は進んでいきました。「作りやすいか」「材料が集められるか」「道具は自分で使えるか」といったことにも気を配り、本の中から作りたいおもちゃを選んでいました。楽しそうなおもちゃがたくさん紹介されている数多くの図書資料は、子どもたちの興味・関心を広げることにつながっていたことを感じます。本を探すときの子どもたちの真剣なまなざしからそのことを強く感じました。資料の準備においては担任の先生と学校司書さんとでご苦労されたことと思います。

担任の先生が、子どもの実態をしっかりとかみ、子どもの思考の流れを大切にされた単元計画をされていたこと、学校司書さんがひとり一人の子どもに目を配り、子どものやる気が高まるような声かけをされていたことも心に残っています。

今年度の図書館活用事業について

今年度、中西小学校と益田中学校で取り組んでいただきました。熱心な研究のもと、授業を通して子どもたちの情報活用能力や思考力、判断力、表現力等、着実に高まったと思います。コロナ禍での公開授業でしたので、たくさんの方にご参観いただけなかったことが残念です。両校の取組については、来年度島根県立図書館のホームページで紹介する予定です。(只今、実践をまとめているところですので)それを見ていただき、自校での実践にいかしていきたいと思っています。

学校図書館情報



学校司書さんをはじめ、各学校の図書館支援員さん、地域ボランティアさんともどもたちの図書館での学びを支えてくださっています…。

卒業生に1年生の時から読書記録を作成してプレゼントしています。その準備を行いたいと思います。

6年生「戦争について調べよう」では、図書館の本を使って調べ学習をしました。読むことが苦手な子が興味をもちそうな本を益田市立図書館から借りました。

行事が落ち着いたところを見計らって「延滞リスト」を配布した。担任の先生方がすぐに対応してくださり数日内に返却が完了し、ありがたく思った。



安野光雅氏の逝去は残念でしたが、報道された新聞をもとに掲示新聞を作り、貼りました。国語科の先生も図書館から安野さんの著書を探し、生徒に紹介されており、相乗効果でよかったと思います。

6年生はたびたび情報カードを使います。今回の社会でも使いましたが継続して使っているおかげでスムーズに調べることができとてもよかったです。

生徒たちの読書の傾向が量から質になりつつあるように感じられます。おすすめを選んでいく生徒が多くなりました。広がっていくと嬉しいです。

おすすめの本を紹介しあう授業があり、図書館の本が子どもたちの生の言葉で宣伝されました。読書のきっかけは人から人への紹介が一番です。これからもきっかけづくりのお手伝いをしていきたいです。



図書館が安心して過ごせると感じるような居場所づくりと話を聞いてほしいという数名の子の思いを受け止めながら活動していこうと思います。

子どもたちの読書の様子について

昨年12月に小学校5年生から中学校2年生まで島根県学力調査がありました。生活行動・学習活動調査において「平日、本(漫画や雑誌を含まない)を読んでいる」と答えた益田市の児童生徒の割合です。

小学5年	58.9%	中学1年	52.1%
小学6年	51.9%	中学2年	56.6%

学力調査の結果からも読書量と学力との相関関係はあると思われませんが、何より読書を通して本の楽しさを知る子どもが増えるといいです。

